

CONTENTS

- 02 みやざきTOPIX
- 04 特集1
みやざきっ子よ、大樹のように育て
- 06 特集2
国文祭・芸文祭みやざき2020
- 08 特集3
避難に関する呼びかけ方(発令)が変わりました
- 10 議長、副議長、監査委員が決まりました
- 11 キラリ! 平川 晴茄さん
(中学生プログラマー)
- 12 新型コロナワクチン接種を進めています
- 13 ひなたDish
ブルーベリーとヨーグルトのデザート
- 14 Fun Fun Fun
- 17 健康・福祉
- 18 子育て
- 19 情報ひろば
- 22 読者の声/自治会「宝」自慢
市長のささや記
- 23 クロスワード

表紙/国文祭・芸文祭の宮崎市オリジナル手ぬぐい
イラスト:工藤恭弘氏(有限会社にはむ広告事務所)

※掲載の情報は6月1日現在のものです。
新型コロナウイルス感染症の影響により
イベント中止などの可能性があります。
詳しくは主催者にお問い合わせください。



MIYAZAKI CITY
市コールセンター

TEL 25-2111

月~金曜日(祝・休日を除く)
[受付時間] 8:00~17:15

市役所のさまざまな制度や手続き、施設案内
など、気軽にお問い合わせください。このほか、
市政に対する要望などもお受けしています。

FAX 38-4894
MAIL mzkwebm@city.miyazaki.miyazaki.jp
※ファクス・メールは、24時間受け付けています

QRコードから
市政に関する
情報を配信!



人口と世帯数 6月1日現在(前月比)

- 人口:396,930人(+46)
- 世帯数:184,727世帯(+161)
- 男性:186,573人(+59)
- 女性:210,357人(-13)



青島に設置されている「幸せの黄色いポスト」。



恋文を手にする事務局の東郷あすかさん。

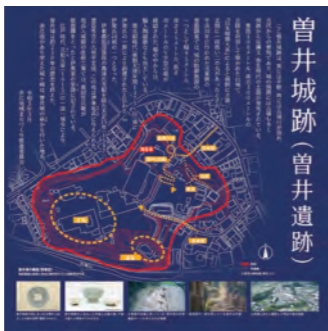
#3

市公式「みやざき恋文」で
婚活を支援



登録はこちら

手紙のやり取りを通して、結婚を希望する独身者の出会いをサポートする「みやざき恋文」。昨年4月にスタートし、1年が経過しました。公式ウェブサイトの登録フォームから趣味や希望する相手の年代などを登録すると、事務局が相性の良さそうな2人を選びペアリング。両者が同意すれば文通がはじまります。さらに、手紙を書く事務局を通じ、青島にある「幸せの黄色いポスト」に投函されます。これまでに7組が連絡先の交換に発展。事務局の東郷あすかさんは「コロナ禍で出会いが減ったという方も多いと思います。まずはお気軽に登録してください」と呼びかけています。



野崎病院正面玄関駐車場に設置。



野崎病院関係者と赤江地域まちづくり推進委員会のメンバー。

#4

南北朝時代に創建された
曾井城の跡地に案内板設置

赤江地域まちづくり推進委員会は、野崎病院の敷地内に曾井城跡の案内板を設置しました。曾井城は、南北朝時代に日向国の大半を占めた伊東氏の一族が鉄肥に移るまでの約250年間存在した山城とされています。案内板には野崎病院の敷地を中心に東西400メートル、南北300メートルの丘陵を利用して山城が築かれたことなどが説明されています。同委員会では曾井城跡の案内板のほかに、恒久の賣泉寺に「山門の仁王像」、赤江公民館前に「松井用水路」の案内板を設置しており、これからは赤江の歴史を知ってもらう案内板の設置を進めていきます。



4月27日に行われた贈呈式。



トレーニングに集中する高木美帆選手。

#1
スピードスケート
ナショナルチームが合宿

スピードスケートナショナルチームが4月25日から5月12日まで宮崎で強化合宿を行いました。合宿には2018年平昌冬季五輪金メダリストの高木美帆選手、高木那選手をはじめ39人の選手やコーチが参加。宮崎での合宿は、2016年から始まり今回で7回目となります。4月27日にはナショナルチームを激励しようと、県は宮崎牛10kgを、市は完熟マンゴー

20玉を贈呈し、2022年北京冬季五輪での活躍を願ってエールを送りました。選手たちはひなた宮崎県総合運動公園でのトレーニングをはじめ、日南海岸の道路を使った自転車トレーニング、さらには今回は、一ツ葉有料道路歩道にてインラインスケートトレーニングを行うなど、宮崎の合宿環境をフルに活用してコンディションを整えていました。



宮崎南高校の2、3年生10人が「宮崎に元気を」と願って制作しました。



作品は本庁舎正面玄関に展示。

市役所本庁舎の正面玄関に縦2メートル、横1.2メートルの大きな絵画が5月18日から展示されています。これは宮崎南高校3年生の地域探究チームが「医療従事者への感謝と宮崎を元気にするため」に何かできることはないか」と企画。同校の美術部と書道部が協力

して完成させました。宮崎の海と空を医療従事者への感謝を表す「重ねブルー」で表現し、宮崎の象徴であるフェニックスを描いています。そこに、「コロナを恐れることなく、目的・目標に向かい前進してほしい」との願いを込め「勇往邁進(ゆうおうまいしん)」が力強く書き上げられています。生徒たちは「私たちが企画していたイベントが中止になり寂しい思いをしましたが、ほかに行うことはなかったと行動を起こしました。作品を多くの人に見ていただき、宮崎が明るく元気になってほしい」と話してくれました。

#2
コロナ禍の宮崎を元気に
宮崎県立宮崎南高等学校の生徒が大作の絵画を制作